エンジンはHKS製ピストン、GTタービンを主にチューン。牧原さんいわく『吹け上がり重視のセッティング』にしているそうだ。なお、パワーは750〜800馬力程度。また、スタートから20〜30mまでの加速をより高めるために、ミッションはローとセカンドがクロスしたものを搭載している。なお、頻繁な減速が要求されないゼロヨン仕様なので、ブレーキはノーマルのまま。

セントラル・ゼロヨンタイム

11秒267

セントラル・ゼロヨンフェスティバルで、前出のマインズとトライアルのＧＴ-Ｒのタイマン勝負が実現。この勝負、慣れないツリー型スターターに手間取ったマインズ新倉がスタートに失敗。直接対決はならなかったが、タイムではマインズが勝。

ゼロヨンで大切なのはパワーとトラクション

トライアルが今回持ち込んでくれたマシンは、共にお客さんから借りてきたもの。ワンオフのスペシャルでなく、実際にお客さんにしてあげる仕様の見本として、ゼロヨン用にＲ32、サーキット用にＲ33を持ち込んでくれた。この2台から、僕たちにもできそうなゼロヨン／サーキット仕様の姿を見つけていこう。

とかく比較されるＲ32とＲ33だが、ことゼロヨン用ではやはりＲ32の方が俄然有利、と牧原さんは言う。

『やっぱり、ゼロヨン用にすることを考えたら、ボディウェイトは軽い方がいいよね。その点で言えば、Ｒ33よりもＲ32の方が有利。だって、車重で100kgほど差があるからね。

また出力特性、足まわりのセッティングについても、ゼロヨン仕様には独自のノウハウがあるらしい。

『エンジン特性で言えば、ゼロヨン仕様はパワーバンドをかなり上に振っている。具体的には、回転が6500〜8500ぐらいになったときに、最もパワーが出るような設定やね。まあ、ちょっとピーキーになるけど、サーキットのようにアクセルのオン・オフがあるわけじゃないから、パワーバンドの範囲は2000回転もあれば十分なんや。

足については、ゼロヨン用はトラクション重視でいきたいから、ダンパーの減衰力なんかもノーマル＋α程度のものでいい。それに、キャンバーも極力立てるようにして、なるべくタイヤの全面が路面をグリップするようにしているんや』

つまり、『エンジンの軽い吹け』と『ロスなくパワーを路面に伝える足』、これを重要視しているわけだ。逆に曲がることを考えた仕様ではないので、このままでサーキットは危なくて走れないとか。

サーキットでは曲がる止まるの能力も重要だ

エンジンパワーを生かして、ストレートをとにかく速く駆け抜けるのがゼロヨン仕様の理想の姿だとすれば、一方のサーキット仕様には、ストレートスピードの速さ以外にも求められる要素はたくさんある。

その求められる要素の中でも、トライアルが現在、最も力を注いでいるのが足まわりの熟成だ。

『Ｒ33の場合、タイトコーナーでアンダーが出やすいという性格を持っているんやけど、それを防ぐためにはフロントの車高を落としたい。だけど、車高をどんどん落としていくと、ロールセンターは逆に上がってしまうので、これが走行中のアライメント変化を招いてしまうんや。結局、これを解決するには、ロアアームをそっくり交換するしかない。そこで、今、ウチでは試作品のアームを作って、テストしている最中』

なおこれと並行して、ダンパーとブレーキのテストも行われている。

『サーキットを走るなら、ダンパーの減衰力はノーマルの2・5倍ぐらいはアップさせたい。それと、足まわりのセッティングで重要なのは、ストローク量とアライメントとの関係やね。コーナーでバンプしたときのアライメント変化が大きいと、どアンダーになることがあるから。

ブレーキは、フロントをブレンボに換えているんやけど、今、パッドによって前後の最適なブレーキバランスを探っているところなんや』

ちなみに、エンジンはカムシャフト、タービン交換などを行い、約550馬力を発生。これはゼロヨン車に比べるとやや低い数字だが、あくまでも『レスポンスを重視した』結果でのこと。つまり、サーキット車では、すべての面でのバランスが重要だということなのだろう。

エンジンのパワーバンドは4000〜8200回転と、ゼロヨン仕様に比べるとずっと広く取られている。これは、タイトコーナーの立ち上がりなどで大きな効果を発揮するはず。オリジナルマフラー『バズーカ』は、メインパイプ径が80φから90φへと徐々に太くなるメガホン構造を採用。出口径は140φだ。フロントブレーキは、ブレンボの4ポッドキャリパーと大径ディスクに交換している。

セントラル・サーキットタイム

1分30秒2（ハーフウェット）

翌日、トライアルはＲ33サーキット仕様を持ち込みラップタイム対決。走り慣れたトライアル牧原が早々に1分30秒台に突入するが、その直後トラブル。このコースは初というマインズ新倉も1分32秒台に突入したところで再。勝負はドローとなる。

'97 8月 レッ